

生活指導だより

平成28年10月27日

No.8

日野市立日野第八小学校

生活指導部

防犯訓練（不審者侵入）

10月の避難訓練は学校への不審者侵入を想定した防犯訓練でした。

平成13年に大阪府起こった不審者侵入事件は、安全なはずの学校で子供が亡くなることもあるということを全国に知らせた事件でした。この事件を受けて全国の学校では、これまで以上に不審者が侵入しないようにしたり、訓練をしたりして子供たちが日々を安全に過ごせるようにしています。

子供たちは事前に不審者侵入時の緊急放送の意味を学びました。「大きな荷物」とは不審者のこと、「〇〇に届きました」とは不審者のいる場所のこと、「荷物は1つ」とは不審者の人数のことです。不審者を刺激しないようにこのような言葉を使います。

訓練が始まると、不審者が教室に侵入しないようにドアを閉め、机でバリケードを作ったり電気を消したりします。子供たちは、落ち着いて放送を聞き、不審者が確保されるまで教室の隅に避難して待ちました。



低学年は1段のバリケード、中高学年は机を重ねて2段にします。



本校では様々な想定避難訓練を行っています。不審者侵入のような事態が起こらないことが一番ですが、万が一の時に素早く落ち着いて行動できるように訓練を重ねています。（裏面もあります）

不審な電話にご注意を！

毎年、この時期になると児童の保護者等を名乗って、児童の電話番号や住所を聞き出そうとする不審な電話の報告があります。各学級でも指導していますが、ご家庭でもこのような電話があったら絶対に電話番号や住所を教えないように、お子様に声かけをお願いいたします。

学校は、電話で個人情報を聞くことは絶対にありません。万が一このような電話があった場合は、学校へお知らせください。

（以下のことをお子様とご確認ください）

○保護者は、電話連絡網や住所録などの個人情報が記載されている資料を、児童がみることができる場所に貼らない。また、すぐに取り出せる場所に置かない。

○児童は、不審に感じる電話があった場合には、すぐに保護者に代わる。保護者がいない場合は、「分かりません。」と答え、すぐに電話を切る。

○不審電話への対応方法（例）

次のような用紙を電話や電話の前の壁に貼るのも一つです。

「でんわばんごうを おしえてほしい。」

「でんわばんごうが あっているか かくにんしてほしい。」

などの、でんわが かかってきたときの こたえかた

『**うちのひとが いないので、わかりません。**』

といって、でんわを きる。